



表紙

メイン目次

【巻頭ロング・インタヴュー 抜粋・概要】 デュオ・パリサンドル

フランスのギター・デュオ。インタビューアも、彼らを知らなかったようです。フランス人ペアらしく彼らも子供さんが二人いますが結婚はしていないとのこと。使用しているギターは、二人ともアイルランドの製作家ジョージ・ローデンのギターだそうです。インタビューは、二人のなれそめ、レパートリーについての記事が中心です。

【(新)話題のアーティスト紹介 中林仲裁】

中林淳真氏の息子さん。病気をして音楽への考え方が変わったそうです。

- 以前は、自分が主でしたが、今は、音楽、楽器が主人公で、私はそれらに奉仕するものととらえています。できるだけ自分の個性を出さないように努めています。そのように努めたら、以前にもまして 個性的な演奏という評価をもらうようになりました。
- そのため、以前は演奏の責任は自分にあると思っていましたが、今では、「このギターが悪い!」と思うようになりました(笑)。
- 7歳のころに父からラミレスのギターを持たされました。父の全国ツアーにも連れていかれました。 父は「徹底して何も教えない」優秀な先生でした。しかし、父の周りにユパンキなど大芸術家が多かったので、子供心に大人をジーと観察していました。

【クラブ・マリアデュオのインタビュー:マリオ鈴木】

今まで500曲以上の曲を作曲し、5,000回以上のギターコンサートをこなし、11枚のCDをリースている鈴木氏。んんんん、勉強不足ですね、彼のことも全く知りませんでした・・・・子供頃のつらい思い出や、UFO目撃談など、なかなかユニークな方です。

■ ギターは中林淳真氏に学びました。演奏会で自分の曲しか弾かないので、「なぜ、自分の曲ばかり弾くのですか?」と聞いたら、「私はギター弾きではない。私は自分で作った言葉を発信したいんだ」と。

【その他の注目すべき記事】

■ 「ミロシュ 来日インタビュー」: デビューアルバムに伴う来日ということで、CD 収録曲の話や修業時代の話、日本公演に向けての話が掲載されています。

- 「新マエストロ養成講座:長谷川郁夫」: 第 20 回は、ジュリアーニのグラツィオーソ OP51.14 です。 グラツィオーソとは、発想記号で「美しい少女が花束を持ってこっちを見つめている」のだそうです。
- 「21世紀のギター教本#2:佐藤弘和」:今回は、ポジション移動、軸指の解説です。
- 「クール・アレンジメント:竹内永和」:今回は、ディズニー映画「白雪姫」から「いつか王子様が」 です。結構シンプルなアレンジで、自分の持ち曲にできそうです。
- 「ソロギターのためのシンプル・アレンジ講座:竹内永和 |:今回は、リ・ハーモナイズということ で、既存のコードを変更して新しいコードを付けることだそうです。サンプル曲として、スタンダード ジャズの「煙りが目にしみる」が掲載されています。

また、東京で開催された「第2回イーストエンド国際ギターフェスティバル」の報告記事も掲載されていま す。ペロア、ブラーボなどの豪華ギタリストが参加しています。

また、Guitar dream には、楽譜と模範演奏 CD がついている。今回は、下の楽曲が掲載されている。

M. S. ブラッテン

憧れ、疲れ

ブラッテン夫人については、本誌 No.29 のこの欄で触れたの で繰り返さない。今回複載する曲は彼女の自伝によると、良き 伴侶だった夫を亡くした後、元気を取り戻すまでの時期に書か れた。この2曲の小品から、当時の彼女の心情が察せられるよ

(玉雷森弘)

E. グリーグ (壺井一歩・編曲)

朝、オーゼの死

グリーグ (ベール・ギュント第 1 組曲) から第 1 曲 (朝)、 第2曲 (オーゼの死) の2曲をお届けします。本来 (ベール・ ギュント》は劇付随音楽として作曲されていますが、グリーグ自 身が後に2つの租金に掲金し直しています。

(朝) は、民謡風のフレーズが3度上への転調を繰り返す 明るい旋律が、まさに太陽の上るさまを見事に表現しています。 (オーゼの死) は、やはり民国風のシンプルな歌が繰り返され るがけの構成ですが、どちらもダイナミクスを的確に設定するこ とで音楽が引き締まってくるでしょう。フォルテのために必要な のは大きな音を出すことではなく、その前に適切なピアノ、ピア ニッシモを用意することだと思います。

(真珠採り) は、フランスの作曲家ビゼーが書いたオペラから

の曲です。クラシックだけでなくコンチネンタルタンゴでもよく取 り上げられ、アルフレッド・ハウゼ楽団がタンゴとして編曲して

演奏しました。楽譜上では単なる和音でも、バッキングなどを

効果的にやってみてください。そうすることによって、クラシック

調からタンゴ調に雰囲気を変えて演奏することができると思いま

(角圭司)

約束、感謝~サンクスギヴィング

それぞれ 2000 年の結婚と同時期に作曲したものです。(約 束》は、同じコード進行の繰り返しで、技術的にも易しく書か れています。小節内の音を消音せずに、響かせて弾くことがポ イント。最後のほうに出てくる E9 のコード (図) に、盛り上が りの頂点を上手く合わせてまとめてください。

もう1曲の (感謝~サンクスギヴィング) は、もともとギター 2重奏(アルト&プライム)でしたが、今回新たにソロバージョ ンにリメイクしました。イントロの後に出てくるテーマ (近~(近) は、使のほかの作品でもしばしば使うリズムのもので、いわば「幸 せ・喜びのモチーフ」。このモチーフを楽しく軽やかに弾くのが ポイントです。後半の3拍子になる所はややゆったりですが、 生き生きさは失わずに。(約束) のコーダに出てくるモチーフを 使った部分です。

(佐藤弘和)

J. テイラー

傘を忘れないでね!

G. ビゼー (角圭司・編曲)

真珠採り

アメリカでは傘を持つ習慣がありません。基本的にアメリカは 重社会なので、傘が必要になる場があまりないのです。したがっ て傘は日常の生活にあまり登場しません。だけど、日本は違い ます。日本では、雨が降る可能性がちょっとでもあると、原を出 る時に必ず傘を持つのが普通です。私は今 11 年間日本に住ん で、だいぶ傘を持つようになりました。そして傘の存在感をやっ と感じるようになりました。時々ほかのアメリカ人に笑われるぐ らいです。でも悲しいことに、この 11 年間で、およそ 40 本ぐ らいの傘を地下鉄とか店でなくしてしまいました。その忘れられ た金たちのために、この曲を書きました。

ノワやすい曲で、最後のほうにはベルーの民謡 (La Lluvia) のメロディーが出てきます。「La Uuvia」は「土砂降り」とい う意味です。

(ジェイソン・ティラー)

吉俣良(平倉信行・編曲)

「江〜姫たちの戦国〜」テーマ

昨年の大河ドラマのメインテーマです。曲は短いながらも次々 と展開していき、スピード感を感じます。最初に出てくるトレモ 口は力を抜き、滑らかな音になるようにします。 ⑤からの 4th の和音では、ベース音をしっかり出すようにして刻んでください。 匣に入る前はしっかりリタルダンドをして、アウフタクトをゆっ たりと弾き、4th のタバレットを準備する時間を作ってあげま しょう。タバレットは⑤⑥弦を8フレットでクロスさせています。 3rdは/だけのアップ、ダウンでストロークしています。メロディー を招きないように音量のバランスに気をつけてください。

(平倉信行)